

パソコン・IT音痴の人でも  
これなら理解できる!!

いま話題の

# 「クラウド会計ソフト freee」

のことが  
みるみるわかる  
30分セミナー [後編]



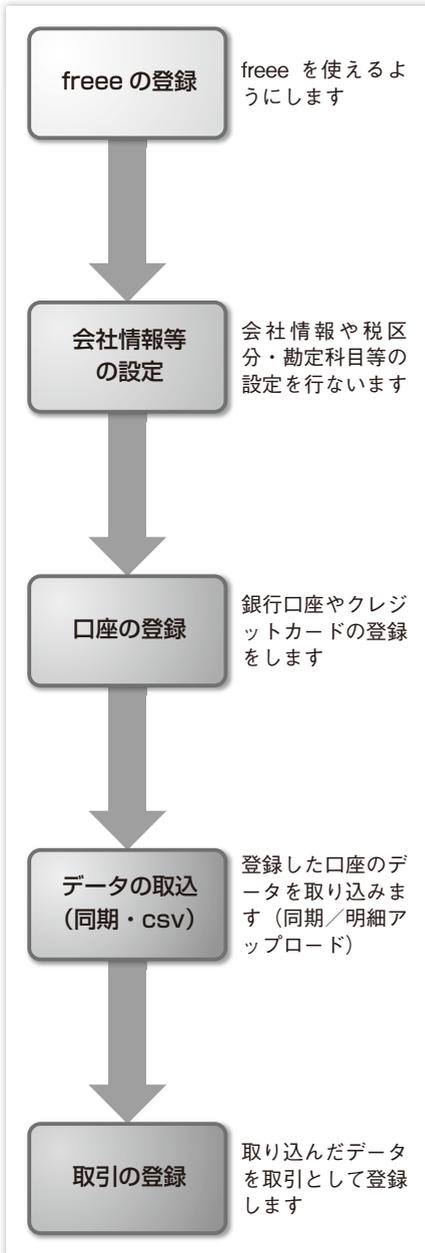
税理士・公認会計士  
白根 裕也

最近よく耳にするクラウド会計ソフト freee（フリー）ですが、実際に使っているという企業はまだ少ないようです。決算書作成や確定申告も簡単に行なえて、経理・会計を自動化してくれるというのですが、本当のところはどうなのでしょう。また、実際に導入・活用を考えたときに、どんな注意が必要なのでしょう。専門家が導入事例などもまじえて、あなたの疑問にわかりやすく答ええます。

前号では「クラウド会計ソフト」のひとつである「freee（フリー）」について、その内容を解説しました。後編の今回は、実際の登録手順と導入事例をご紹介します。

前回もお話ししたように、freeeは従来型の会計ソフトとは異なるため、仕訳（取引）を直接入力する以外にもいくつかの入力方法があります。ここでは、freeeを登録し、銀行やクレジットカードのデータを取り込んで、そ

図表1 freeeを利用するための5つのステップ



のデータから取引を登録する（仕訳を切る）という、基本的な流れについて説明します（図表1参照）。

・STEP1…freeeの登録（次ページ図表2）

まずはホームページからアカウントを作成します。とりあえずは無料プランで大丈夫です。

<https://secure.freee.co.jp/users/signup>

・STEP2…会社情報等の設定

次に会社情報等の設定をします。名前や住所、決算期や勘定科目、税区分など、基本的な項目を設定します。これらの項目は後からでも変更できるので、先に進んでも構いません。

・STEP3…口座の登録

次に事業で使っている銀行口座やクレジットカードを登録します。freeeを利用する最大のメリットは、銀行通帳の履歴やクレジットカードの利用履

歴をデータとして取り込み、会計帳簿の作成を効率化するところにあります。

銀行口座やクレジットカード以外の様々なサービスとも連携ができるので、利用しているサービスがあれば登録してみるとよいと思います。

・STEP4…データの取込

STEP3で登録した口座のデータを取り込みます。データの取込には「同期」と「明細アップロード」がありますが、同期が可能なら、ボタンを

図表2 freeの登録画面

押すだけであったという間にデータの取込が完了します。  
同期が完了すると【自動で経理】に「未処理〇件」と表示されます(図表3)。  
3)。  
・STEP5..取引の登録

図表3 同期完了後の画面



な画面が表示されます。勘定科目を選  
択もしくは確認して、登録ボタンを押  
すだけで完了です。  
以上で会計帳簿のデータとなる取引  
の登録(仕訳の計上)が完了しました。  
非常に簡単だったのではないでしょ  
うか。他のサービスと連携してみたりし

インターネット物販を行なっている  
Tさんにとって、年間合計で1万件を  
超える膨大な売上取引と仕入取引の記  
帳を、インストール型の会計ソフトで  
手作業することが苦痛でした。  
どんどん溜まっていくレシートに困

【導入事例①】  
神奈川県Tさん (30代男性)  
職業・物販事業

次に実際の導入事例をいくつかご紹  
介しましょう。従来の会計ソフトとは  
違ったことができるということを少し  
感じていただければ幸いです。

効率化を実現した例

て、ご自分でいろいろと試してみたい  
ただければと思います。

図表4 「未処理〇件」クリック後の画面



まれながら、確定申告期限のラスト2週間は一切本業の活動が不可能となっていました。

freee導入後は、標準機能である自動取込機能を利用

して銀行、クレジットカード、ECサイトからのデータを取り込み、さらに自動仕訳機能により仕訳入力に係る時間と労力を劇的に改善できました。2月中に確定申告を完了することができ、2月と3月の売上高が前年の1・7倍に増加して大変喜ばれていました。

freeeの自動取込機能を活用して、膨大な売上取引、クレジットカード取引（仕入取引・経費取引）の処理時間を大幅に短縮した事例です。

**【Before】**

- ・大量の通帳記録やレシートを手入力していたため、確定申告期限のラスト2週間は一切本業の活動が不可能

**【After】**

- ・インターネットバンキング、クレジットカード、Amazon出品サービスの同期により記帳の負担が大幅に軽減
- ・2月中に確定申告が完了
- ・2月・3月の売上高は前年の1・7倍に増加

**【導入事例②】**  
 東京都Yさん（50代男性）  
 職業：鮮魚の卸売業

図表5 freeeの請求書発行機能



魚の卸売を行なっているYさんにとって、手作業で毎月40件〜50件の請求書発行・郵送を行なうことで、毎月1日がかりの作業を強いられることが悩みでした。請求後も入金管理を紙ベースで管理していたことから、売掛金管理が煩雑なうえに、時間の制約から現金主義での記帳をせざるを得ませんでした。

freee導入後は、標準機能である請

請求書発行機能（前ページ図表5）や請求書郵送代行サービスなどを利用することにより、作業時間を月2時間弱まで圧縮することができました。

freeeの請求書発行機能を利用すると請求日付で売上高を計上となるので、自動的に発生主義での記帳となりました。

また、紙ベースで行なっていた売掛金管理もfreeeの売掛レポートを確認することで、入金が行なわれていない債権の特定などが簡単に行なえるようになりました。

さらに請求書発行時に入金予定日を登録しておくことで、後日同期された銀行口座の入金情報を計上済みの売掛金情報とマッチングすることで、売掛金の消し込みも簡単に行なえるようになります。

freeeの請求書発行機能、未決済取引の消込機能を活用して、面倒な請求業務と入金消込業務を効率化した事例

です。

### 【Before】

- ・毎月40件〜50件の請求書発行を手作業で行なっていたため、毎月1日ばかりの作業
- ・売掛金の入金も紙ベースで管理
- ・消込処理が煩雑なため、現金主義で記帳

### 【After】

- ・請求書発行機能により作業時間を2時間弱まで圧縮
- ・入金予定をfreeeで確認できるため、紙での管理が不要に
- ・売掛金の消込作業も効率化
- ・請求書発行機能により期中から発生主義での記帳が実現

### 【導入事例③】

熊本県Hさん（50代女性）

職業：物販事業

Hさんは、九州にお住まいで、近くに税理士がいなくて困っていました。また、従来のインストール型会計ソフトだとデータが自分の端末にしかないので、困った時の相談ができないと感じていました。

しかし、freeeを導入後はユーザー共有機能により、遠方である東京の会計事務所とも常にリアルタイムの情報を共有することができ、その他のIT技術を併用することで問題なく打ち合わせが可能となりました。

freeeのユーザー共有機能を活用して、遠方の税理士事務所が利用できるようになった事例です。

### 【Before】

- ・従来のインストール型会計ソフトを使っていたとしたら地理的に近い会計事務所にしかお願いできない
- ・リアルタイムで情報を確認できないので、コミュニケーションに手間暇

がかかる

【After】

・freeeの導入で会計事務所が遠方でも簡単にコミュニケーションが可能になった

・リアルタイムに情報を確認できるため、打合せがスムーズになった



最後にfreeeの新機能を紹介します。こちらは今年2月1日にリリースされたばかりなのですが、freeeで個人の確定申告の電子申告までできるようになりました。

これまでも国税庁の「e-Taxソフトを使えば、個人の方でも電子申告はできたのですが、決算をして申告書を作るだけでも大変なので、電子申告を個人でできる方はほとんどいなかったのが実情です。

しかし、freeeでは、普段の取引さ

えしっかりfreeeに記録をしておけば、確定申告は質問に答えていくだけで完了し、さらにマイナンバーカードがあれば電子申告までできてしまうようになったのです。

この電子申告の機能は一例になりませんが、freeeはクラウドのソフトなので、ソフトウェアが勝手にどんどん進化していくのです。

筆者はfreeeを使い始めて数年が経ちますが、その間にどんどんソフトが進化していった、以前にはできなかったことが、今では当たり前のようにできるようになっていきます。最近ではファイルボックスにアップロードした領収書を画像認識する機能が大幅に上がり、大変びっくりした経験があります。

その他にも、会計事務所向けの「スキャンで経理」（レシート類を高速で記帳する機能）や、請求書の郵送発送までfreeeで行なえるサービスも開始

しています。

クラウド会計ソフトには、ここでご紹介したfreeeだけでなく、MFクラウドや弥生会計オンラインなどがあります。とりあえず無料版などで試してみたいかがでしょうか。



●しらね ゆうや

神奈川県出身。東京大学卒業後、東京海上火災保険にて企業保険の営業と企業商品開発部門での業務に従事。あしたの会計事務所立ち上げ後は、上場企業や成功している企業のノウハウを中小企業に役立てることを使命として、幅広い顧客を対象に業務指導等を行なうと同時に、クラウド会計ソフトをはじめとしたITツールの導入等を通じて、個人事業主や小規模企業の決算業務効率化に注力している。「近況」確定申告業務が終わりに、最近久しぶりに休みを取ることができました。少し運動不足で体重も増加傾向にあるので運動しなければいけないと思いつつも、今週は家でくつろいでしまいました。